

# 美術Ⅱ 意見広告をつくる

千葉県立土気高等学校 佐藤 政江

## 題材設定の理由

表現することの中で、言葉も使って伝えることを考えることによって、芸術の社会の中での働きについて、考える。また、自然・自己・社会などを深くみつめ、多様な視点から考える力、表現する力を養うため。

## この授業でつけたい力

時代・民族・風土・宗教など表現の相違や、共通性を考察した上で、言葉、デザインを使って、自分の考えを表現する力、人々に伝える力、発表する力

## 観点別評価

関心・意欲・態度・・・社会に関心を持ち、伝えたい内容から主題を生成し、主体的に表現する活動に取り組む。

発想や構想の能力・・・主題を基に、形や色彩などの造形要素の働きに加えて、言葉を使った、創造的な表現の構想を練っている。

創造的な技能・・・自分の考えを人に伝えるために、訴求力の強い表現を工夫している。

鑑賞の能力・・・友人の発表を聞き、作者の表現意図と工夫を感じとり、更に意見広告の特徴を捉え、ポスターとの違いに気づき、役割を理解している。

合計20時間

### 意見広告とは・・・

商品を売るための広告でなく、特定の個人やグループが、特定の問題について意見を主張する広告

**あなたが最近考えている事、腹のたつ事、みんなに伝えたい事を広告にして表現しよう。**

広告デザインの1番のポイントは、伝達という機能です。なかでも重要視されるのは、やはりアイデアです。ビジュアルはもちろん、言葉にもレイアウトにも色彩にも、すべてにアイデアが必要です。

目的達成のために、どんなアイデアがいちばん伝達力を持つかを考えて、画面とコピーを制作してみよう。

**1何を…伝えたいか？（どうして伝えたいのか、理由も考えよう）**

**2キャッチコピーを考える。**

受け手の興味関心をひくためのコピー（あたりまえ過ぎないように、ひとひねりしたコピーを考えよう）

**3ボディコピーも考える。**

広告における本文のこと。キャッチコピーで引き込まれた読者の関心を拡大し、広告のコンセプトを訴える事実などを明示する。

**4制作**

(1) B3パネルに、ジェッソで下塗りをする

(2) デザインを考えて、描く

鉛筆等で下描き→アクリル絵の具で描く

(3) コピーを入れる パソコンで文字を入力して出して、カーボン紙で写す。

**5鑑賞**

自分の作品について、発表する。友達の作品を鑑賞し、感想をまとめる。

意見広告の制作では、主題を考えることに時間がかかる生徒が多いが、美術室の机に向かっているだけでは、アイデアも浮かばず、ヒントもないので、毎時間、新聞広告などを見せて、コピーや、デザインなどの解説を何度もする。そして、家庭や、街の中で、新聞を読んだり、インターネットで調べたりして考えてくるよう指導をしている。

それで、同時進行で、日本画の制作を行っている。日本画に入る前に、アクリル絵具で、自分の今の気持ちを色だけで表現する課題と、校内にあった春の草花のスケッチをし、その二つをあわせて葉書大の大きさの日本画にしている。日本画も膠が乾くのに、時間がかかるので、2時間続きの授業では、両方の課題を自分のペースで取り組み、1学期の終わりに、完成する。

テーマは、何でもよいことにしており、コピーもデザインも工夫するように指導している。独自の視点で面白いテーマをみつけてくる生徒も多いが、反面、キャッチコピー、ボディコピーの役割の理解が薄く、小学校の時の夏休みの宿題のような当たり前過ぎるポスターのようになってしまう生徒も少なくなく、その指導が課題である。

最後に全員が作品のコンセプトの発表をすることで、更に生徒の視野も広がるができる。